

10月4日（水） 朝礼のお話

10月は神無月

早いもので夏休みが終わってもう1ヶ月が過ぎ、今週から10月になりました。今年も残りあと3ヶ月です。体育発表会の練習も大詰めですね。

さて、この10月ですが、日本の古い暦の表し方では神無月と言います。神無月は神様が無い月と書きます。ちょっとおもしろい名前ですね。今日はこの神無月のお話をしてみたいと思います。

昔から日本には色々な場所にたくさんの神様がいらっしゃると思われていました。例えば、田無駅の近くにある田無神社には 風の神様である しなつひこのみこと と しなとべのみこと という神様がお祭りされているそうです。この他にも日本ではそれぞれのお家や大きな石や木のなどありとあらゆる所に色々な神様がいらっしゃると思われていたわけですね。八百万の神様と言うこともあります。

そしていよいよ神無月のお話です。実はこの日本中にいらっしゃる神様ですが、毎年10月になると島根県にある出雲大社という大きな神社に集まって会議をすることになっているのだそうです。色々な神様が集まって会議をするなんてちょっとおもしろいですね。どうして島根県の出雲大社に集まるのかと言うと、出雲大社の神様である大国主命にはとてもたくさんの子供たちがいて、その子供たちが全国で神様のお仕事として働いているからなんです。つまり、全国に散らばっている子供たちが年に一度自分の親のところに帰って来るといった感じですね。つまり、このように全国の神様がみんな出雲大社に行ってしまうので、日本中の神様が留守になって神様がいなくなってしまうのが10月なんです。そういうわけで、10月を神様がいない月と言うことで神無月と言うそうです。ちなみに全国の神様が集まる出雲大社のあたりでは神無月ではなく、神在月と言うそうですよ。

さてこうして全国の神様が集まって会議をするわけですが、一体どんなことを相談しているのでしょうか。神様達はそれぞれの人の運命や誰と誰を結婚させるかと言ったことから、来年のお米や野菜の出来具合からお天気まで、などありとあらゆることを相談するのだそうですよ。神様がこんな相談をしている姿を想像するとこれもちょっとおもしろいですね。

ちなみに神様がみんな出雲大社に出かけてしまうと困ってしまうこともあるので、神様の中には10月になっても出雲大社に行かずに、それぞれの場所でお留守番をしている「留守神様」もいらっしゃるそうですよ。こうしてみると、日本の神様達ってなかなか楽しいですね。

今日は10月の古い名前、神無月のお話から日本の神様のお話をしました。今日も一生懸命聞いてくれてありがとうございます。では神様のいない10月も楽しく過ごしましょう。